

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	3a	サービス担当者会議は、職員が日々の中で知り得た情報を持ち寄り話し合っている。更に、本人の視点で話し合うための元となる情報を明確にしてはどうか。	職員間でのサービス担当者会議開催し本人の視点で話し合う情報を明確にする。	3ヶ月毎の見直し、入退院時、状態変化があった時等に職員間の担当者会議開催し記録に残す。	24 か月	
2	2A	利用者一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、こだわり方や大切にしてきた事生活環境、これまでのサービス利用の経過等、本人や本人を良く知る人(家族、親戚、友人等)から聞いている。	利用者一人につき担当職員を設けセンター方式の記入をしていたが、職員全体で利用者一人ひとりの利用者の生活歴、馴染みの暮らし方、大切にしてきた事を本人や知る人に聴取し記録しより良いサービスに繋げていく。	利用者の情報エピソード、現在の思い等を口頭で把握するのではなくセンター方式に記入していく。	24 か月	
3	5Ab C	計画書をファイルに閉じてあり、管理者が職員に確認するように伝えている。情報シート(日々の介護記録)の中からその内容を探す必要があり情報量が少ない。	職員は利用者一人ひとりの介護計画の内容を把握理解し介護計画に沿ったケアができているか、又日々の暮らしや状態変化等、見逃さず記録していく。	介護計画に沿ったケアが実践できているか、記録として計画書のサービス内容を日々の介護記録に盛り込み、日々の状態変化と共に個別に記録していく。	24 か月	
4	37g	行事はいずみだよりで報告している。管理者交代も毎月の手紙により報告した。設備改修や機器導入などについては面会等で話す機会があれば報告する事に止まっている。(床の張替え、IH交換等)	事業所の運営上の事から、できごとについて(行事設備改修、機器導入職員の移動、退職等)家族様に理解や協力を得る。	いずみだより3月号にて年度末に報告する。それ以降は随時いずみだよりに記載していく。	6 か月	
5	39b	地元の元利用者の家族つきあいが続いて現在も野菜や古新聞紙を持って来てくれる。系列事業所の職員ボランティアで音楽ライブを行ったのしませてくれる。さらにこのような時期であっても地域との繋がりを持てるように事業所側から発信できる事はないか話し合ってみて欲しい。	コロナ禍の中であっても地域との繋がりを持つよう事業所側から発信できる事はないか話そう。	職員、事業所で地域との付き合い、ネットワークづくりについて発信できる事はないか話し合い、運営推進会議開催時、報告助言を頂き、協力をお願いする。	24 か月	

注1)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2)項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3)外部評価結果の通知を受けた日から30日以内に評価機関に報告してください。

注4)目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()